

不祥事根絶のための行動計画

福山市立樹徳小学校

1 私たちは、不祥事を許しません。 2 私たちは、法令等を遵守します。 3 私たちは、子ども達を守ります。

区 分	本校の課題	行動目標	取組内容	検証
危機管理意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○規範意識は高い。 ○様々なことを想定しての危機管理意識を醸成する必要がある。 ○情報機器を活用する機会が多いので、個人情報の取扱いに細心の注意が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○想定される危険性について、適宜情報を共有する。 ○各自の危機管理意識を高める。 ○見通しとゆとりを持って業務を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○時事問題等を提供したり、不祥事防止の研修を各学年で企画運営したりすることで、自分事として考える機会をつくる。 ○早めの計画、複数での確認、声を掛け合う習慣をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日常的に点検を行う。 ○チェックリストを活用して、個々の状況を振り返る。
組織体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○相談⇔報告が不十分なことがあり、教職員個々の技量に依存する傾向にある。 ○マニュアルに基づく行動化の検証、ミドルリーダーの育成が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○個々の対応にならないように、相談・連絡・報告体制を確実に機能させる。 ○些細なことでも話ができるよう教職員同士のコミュニケーションを促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○企画委員会で、業務の進捗状況やヒヤリハット事例を共有し、対応を検討する。 ○相談しやすい職場環境にするため、管理職が率先垂範して行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的に行う不祥事防止委員会で点検する。 ○教職員アンケートにより状況を把握する。
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○スクールカウンセラー等の活用が増えているが、担任との連携体制が必要である。 ○相談窓口、方法は掲示物等で周知しているが、児童や保護者が利用したいと思う状況にはなっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○連携に向けて、時間を確保する等の体制をつくる。 ○相談窓口、方法等の周知を継続して行い、より相談しやすい体制をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○スクールカウンセラーによる研修を実施するとともに、日常的に連携しやすい関係づくりを行う。 ○校内の掲示物の意味について児童に周知する。 ○学校だより等で繰り返し保護者に周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学期ごとに児童アンケート・個人面談を実施する。